

ゆいのき ミニ

速報版 21

R3.10.21

室田和宏

“喜んで働く子ども” 清掃タイム!

短縮日課で過ごしてきた9月、給食後の「簡単清掃」と放課後の職員作業で清潔な環境づくりに努めてきましたが、さすがにフルタイムの清掃がないと汚れがたまってしまいます。そこで連休の合間の24日、業間休みに清掃タイムを行いました。子どもたちにとっては貴重な休み時間を利用しての活動になりましたが、みんな一生懸命取り組んでくれていました。さすが、『喜んで働く子ども』教育目標の通りでとても清々しい気持ちになりました。目指す具体的な子どもの姿として本校では「進んで勉強する子ども」「思いやりのある子ども」「喜んで働く子ども」「健康で明るい子ども」の4つが掲げられています。中でも「喜んで働く子ども」は特徴的です。先日、お気に入りのバラエティ番組を見ていたら「どうして学校の掃除は未だにほうきと雑巾で行うのだろうか」、ロボット掃除機を小さい子が後方から興味深そうに見守っている映像が紹介されていました。“結局このロボットにたまったゴミを捨てる作業は、覚えなくちゃならないんだけどね”とオチがつき、さすが芸人Aは面白いなあと感じた次第でした。個人的には、清掃という行為、あるいは奉仕的な行動を自分事としてとらえる『基本のキ』として、ほうきと雑巾の使い方をしっかりと身に付けることは大切なことのように感じます。A1の機能が活用される世の中になればなるほど『基本のキ』が何かを、主体的に、自分事として見極める力が求められそうです。果たしてほうきと雑巾の技能は『基本のキ』と言えるのか否か。これは、なかなか深い問題です。28日には清掃強化週間の代替として、5校時を利用してロングタイムでの清掃を予定しています。今回も“喜んで働く子ども”を目指して取り組んでほしいと思っています。



修学旅行説明会（福島方面）

9月24日には修学旅行説明会を実施しました。昨年度の秋の段階では「鎌倉方面も可能か」といった状況でしたが、5月の段階で福島方面へ変更。そこへ夏からの感染拡大に伴う緊急事態宣言と、状況は二転三転しましたが、現在のところ福島方面へ1泊の旅行を予定しています。保護者の皆様におかれましては、不安な気持ちを拭い去ることのできない状況と思いますが。感染防止の対策を十分に講じ、最上級生の有意義な行事に備えたいと思っています。



ゆいのき 三二

速報版 22

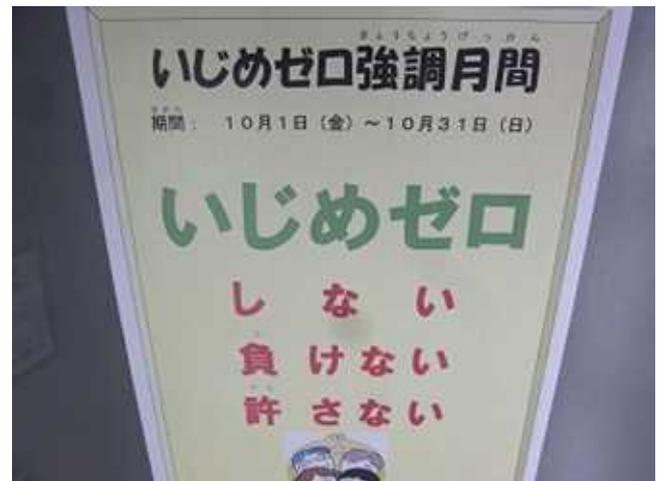
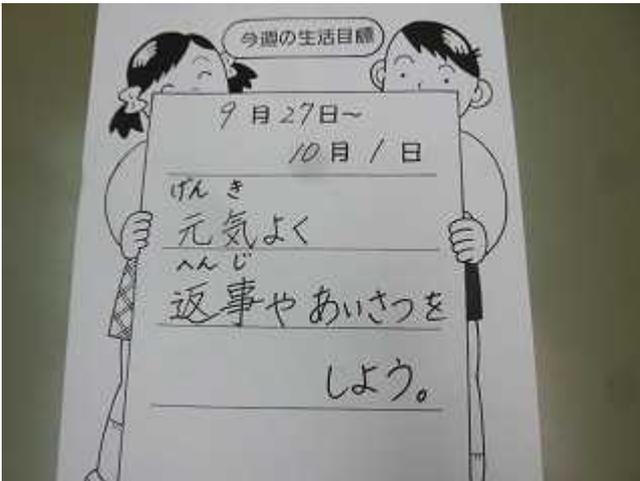
R3.10.4

室田和宏

“いじめゼロ強調月間” もまずはあいさつ！

あいさつは永遠のアイテム そして あいさつにスランプなし

先週の生活目標がこちら。さすが城央小の皆さん、生活目標について週の初めに各学級で指導があったのでしょ。直後、火曜日のあいさつは今年一番良かったかもしれません。そして1週間気持ちのよいあいさつが続きました。今週はどうでしょう？継続し定着が図れるでしょうか？期待したいと思います。先生たちも作戦を思案中です。



10月は5月に引き続き今年2度目のいじめゼロ強調月間です。私は「いじめゼロも気持ちの入ったあいさつから」といっても過言ではないと思っています。①相手の顔を見て、②自分から先に、③相手に伝わるようにはっきりと あいさつをするには、結構“心のパワー”が必要です。心のどこかに、何か引っ掛かるものがあると、なかなかそうはいきません。でも、ちょっと頑張ればできるのがあいさつでもあり、松村邦洋氏いわく「あいさつにスランプなし」の所以です。

これまでの経験を思い出しても「いつもさわやかなあいさつをしている子が、実は陰湿ないじめをしていた」というケースはほとんど思い当たりません。大抵の場合は、いじているその子自身が心の中に“何か引っ掛かるもの”を抱えているケースがほとんど。相手に真正面から向き合い、あいさつできるだけの心のパワーは満ち足りていないようにも思えます。

また逆に、“いつもあいさつの心構え”を日頃からきたえることで、心のパワーが充電されてくるといことはあることです。だから“あいさつは永遠のアイテム”として、是非小学生のうちに習慣づけ、身に付けさせましょう。もし間違えて知らない人にあいさつをしたとしてもご愛きょう、決して叱られることはありません。

まずは、心の引っ掛かりを一度奥にしまい込んで、“爽やかな気持ちをとどけよう”という相手への思いやりを、みんなが声に出すことから始めて、いじめゼロの学校を目指しましょう。おうちの人に、地域の方に、友達に、先生に。

城央小のみなさん！みなさんのあいさつは、心を動かす力を持っているのです！

(今回の記事は児童にも意識してほしいので、“あいさつ”をひらがな表記にしています)

5月29日総合訪問がありました。宇都宮市教委から小堀教育長始め30名ほどをお迎えし、本校教育の様子をご覧いただきました。各種教育計画や指導計画及び出納簿の監査、そして全教員の研究授業が行われました。



授業については、○落ち着いたある学習の様子で、日頃の指導の成果がでている。○どの児童も集中して授業に取り組んでいるのが表情から伝わってきた。○児童の明るさ、しかも前向きな明るさがたいへん印象的だった。○発問や指示への反応がよく、課題に向かっている雰囲気がある。○細かいところまで教材について研究しているのがうかがえる。○教師との信頼関係ができているのがやり取りからうかがえる。と評価していただき、◎児童相互の反応や、友達の意見を自分の中に取り込んでの話し合いを意識してさらに研究を深めてほしい。と宿題をいただきました。また、帳簿類の監査についても「指摘事項も少なく、非常に適切に作成処理されている」と評価をしていただきました。

ゆいのき 三二

速報版 23

R3.10.8

室田和宏

“いじめ撲滅集会” by 企画委員会！

10月5日の朝は城央小児童会の企画委員会による「いじめ撲滅集会」でした。放送室からテレビ放送で、いじめ撲滅を各教室へ呼びかけます。はじめの言葉、委員長の挨拶に続いて、松谷みよ子・味戸ケイコ作の「わたしのいもうと」を企画委員会のメンバーが朗読します。企画委員会の皆さんの、思いのこもった一言一言が心にひびきました。



あとがきには次のよう添えられていました。「ある時期、わたしもいじめにあっている。その辛さは、地獄の底をほうようであった。幼い日の記憶に、あれはたしかイソップだったと思うのだが、池のカエルが子どもにさけぶのである。『お願いだから石を投げないで。あなたたちには遊びでも、わたしにはいのちの問題だから。』わたしもさけびたかった・・・」“あなたたちには遊びでも”のところの心に刺さります。私からは「まずは、心を整える行動を一つ始めよう。靴をそろえる、あいさつをする、ゴミを拾う、ありがとうという、いろいろ考えられますね。まずは一歩が肝心。」と話しました。

1 学期終業式を無事迎えることができました。コロナ禍に翻弄されず、しっかりと学び成長し続けた城央の子を、ともに讃えましょう。皆様のご協力に感謝申し上げます。

ゆいのき 三二

速報版 24

R3.10.8

室田和宏

第1学期終業式 節目にあたって

「わたしが1学期にがんばったことはパソコンです。最初は難しかったけれど、使い方やタイピングを学び、自分の考えを打てるようになりました。夏休みにやった460プロジェクトのまとめや、社会の授業の班の話合いのまとめをするときに、パソコンで意見をまとめることもできました。・・・また、コロナ禍で他の学年の人たちと遊ぶ機会があまりなかったので、2学期はいろいろな学年の人たちと仲良く遊べるといいなと思います。」3年生



さんの発表でした。続いて6年生の

さん「みんなと協力して勝利を目指

してプレーする、これが野球の一番の醍醐

味です。わたしは今年愛媛県で行われた全国大会に出場しました。セクションではとても緊張しましたが、郵便で合格通知が届いたときは、すごくうれしかったです。代表の練習では、みんなの息が合わず、守備が乱れ、練習試合ではいつも負けていました。そのたびに話し合い、守備の練習を繰り返しました。・・・次のステップとしてオール栃木への入団を決めました。“努力はきっと裏切らない”を忘れずに2学期も目標を持って頑張りたいです」学期の節目、一人一人が1学期の成果を振り返り、今



後の目標を新たにする、大切な秋休みにしてほしいと思います。

私からは、1学期の各学年ごとの成長ぶりを振り返り話をしました。クロームブックで全校生のアンケートを容易に集計できるので、活用しました。児童指導担当からは、学期間休業の安全について指導しました。交通ルールの遵守、マスクの着用、いじめゼロ、ゲームの管理、そして、公園など、公



共の場所での遊び方について再確認しました。水道の出っぱなしやマスクのゴミなどが増えているようなので、しっかり自己管理して、有意義に過ごしてほしいと思います。

表彰 おめでとう！

宮っこ心の教育表彰 (教育長奨励賞)

NPBガールズトーナメント (野球全国大会) 優勝,

おめでとうございます！

ゆいのき ミニ

速報版 25

R3.10.19

室田和宏

第2学期始業式 「？」を大切に！

「今日から2学期が始まります。目標を持って取り組んでいきましょう。」朝、放送委員会でこんなコメントを放送していました。おそらくアドリブのセリフだと思います。私が始業式で話そうと思っていたことズバリだったので、スタートから2学期への意欲が感じられ、上級生の頼もしさを感じました。

始業式では、2年生代表の さんが「2学期はかけ算の勉強があります。それに運動会もあります。リレー選手を目指してがんばりたいです。」そして、4年生代表の さんは「毎朝、副



校長先生が校門に立って、僕たちの安全を見守りながら挨拶をしてくれます。僕も挨拶をしますが、朝は気分が上がらず、小さい声になってしまいます。気持ちのよい朝になるよう、元気に挨拶をしたいと思います。学習では、習った漢字を使うことを心掛け、漢字練習も丁寧な字で頑張りたいです。」2学期のスタートにふさわしく、力強



く抱負を語ってくれました。私からは、秋休みに読んだ1冊を紹介しました。スマイルズ著「向上心」という本の一節、「150年前に書かれた本にも、皆さんが大切にしている“まごころ”を、一生かけて育てていくことの大切さが書かれていたよ。」2学期の新たなスタートに際しての目標に、学習面では「？」を大切に学習に取り組むこと、心の面では“お助け声掛けを心掛けること”について話しました。日本人の好奇心に触れたノーベル物理学賞の真鍋淑郎博士の談話が注目されていましたが、「おかしいぞ?」「どうしてかな?」と思った時が探求のスタートです。ふと頭に浮かんだ「？」を大切に「主体的な探求心」を育ててほしいとも思います。お助け声かけには2種類あります。「困っている人がいたら声をかけよう」ともう一つは「助けてもらいたいときにも声をかけよう」です。どちらも勇気がいることです。だからこそ、本校のいじめゼロの合言葉の一つが「勇気を出そう」です。

あいさつは永遠のアイテム大作戦！でいじめゼロ！

ただいま、“あいさつは永遠のアイテム大作戦その1”を展開中です。毎朝、代わるがわるに教職員が昇降口のところで“おはよう”の声かけをしています。“100回おはよう”を目標にしていますが、子どもたちの挨拶の元気がいいと、返しているうちに120回くらいになることもあるようです。もっともっとみんなの挨拶が上手になると150回くらいに……。

ある児童はまごころサポーターさんに門の付近で“いってらっしゃい”と手を振られると笑顔で“行ってきまーす”と笑顔で応えています。とても温かい気持ちになる瞬間です。

